

リハビリテーション科学領域 博士前期課程 2 年生 櫻屋 透真氏が第 36 回日本霊長類学会 「最優秀口頭発表賞」を受賞しました

2020 年 12 月 9 日

リハビリテーション科学領域 博士前期課程 2 年生 櫻屋 透真氏が
第 36 回日本霊長類学会「最優秀口頭発表賞」を受賞しました。

日時：2020 年 12 月 5 日(土)・6 日(日)

開催地：web 開催

学会名：日本霊長類学会

演題名：霊長類間の神経支配パターン比較に基づくヒトのヒラメ筋羽状筋部と
足底筋における新たな系統発生的仮説

受賞者：リハビリテーション科学領域 博士前期課程 2 年生 櫻屋 透真 氏

指導教員：荒川 高光 准教授



The screenshot shows the website of the Japanese Primate Society (PSJ). The header includes the logo and name of the society. The main content area is titled "第15回日本霊長類学会優秀発表賞 (2020/12/6 掲載)". Below the title, there is a list of award recipients and their research topics. The recipient of the "Best Oral Presentation Award" is listed as 櫻屋 透真 (Shirayama Torumasa) from the University of Yamanashi, with a research topic on neural control patterns in primates. Other recipients include 大野 英輝 (Ono Eiki), 清家 多基 (Kiyosaka Takashi), and 豊田 有 (Toyoda Aki).

一般社団法人
PSJ 日本霊長類学会

ホーム 学会概要 学会活動 刊行物 リ

第15回日本霊長類学会優秀発表賞 (2020/12/6 掲載)

以下の方々に優秀発表賞が贈られます。おめでとうございます。

【最優秀口頭発表賞】
■ 櫻屋 透真 (神戸大・保健)
「霊長類間の神経支配パターン比較に基づくヒトのヒラメ筋羽状筋部と足底筋における新たな系統発生的仮説」
共同研究者：関谷伸一、江村健児、平崎純矢、荒川高光

【優秀口頭発表賞】
■ 大野 英輝 (東京大・理)
「ヒトと大型類人猿における脳の正中矢状面形態比較」
共同研究者：荻原直道

【最優秀ポスター発表賞】
■ 清家 多基 (京都大・理)
「マハラ山塊国立公園のカムリクマタカによる霊長類捕食」

【優秀ポスター発表賞】
■ 豊田 有 (中部大・創発)
「血縁度推定から見るベニガオザルのオス間連合形成の相手選択」
共同研究者：丸橋珠樹、川本芳、松平一成、Suchinda Malaivijitnond

優秀発表賞の受賞者一覧